飛鳥・藤原の宮都 世界文化遺産登録決定！

ついに「飛鳥・藤原の宮都」の世界文化遺産登録が正式決定！
県内に4つもの世界遺産を持つ例は国内では初めてで、
国内外からの関心が高まり、経済効果も期待されています。
候補に挙がってから20年越しの悲願達成へ、その歩みを振り返ります。



世界遺産登録への道のり

7月26日、韓国・釜山で開催された第48回ユネスコ世界遺産委員会で、「飛鳥・藤原の宮都」の世界文化遺産登録が正式に決定しました。

世界遺産候補に名乗りを上げ、暫定一覧表に入ったのが2007年。国内推薦が得られず年月が過ぎる中、県と地元市村は諦めることなく、構成資産の保全や周辺環境の整備に力を入れてきました。そして、2024年国内推薦候補に選定。翌2025年に推薦が決定し、ユネスコ世界遺産委員会へ推薦書を提出。ICOMOS（国際記念物遺跡会議）が対象となる明日香村・桜井市・橿原市の19資産の審査を実施。東アジアとの交流を通じて形成された2つの古代国家の宮都として、中央集権体制が誕生・成立した過程を伝える唯一無二の遺跡群であることが評価され、ようやくこの日を迎えたのです。

当日は、歴史的瞬間をリアルタイムで見守ろうと、パブリックビューイング会場が複数設けられ、その様子はインターネットで生配信されました。審議の結果、満場一致で承認。会場に集まった人々から、大きな拍手と歓声が沸き起こりました。

現地の山下知事は、小林茂樹文部科学副大臣（当時）らと肩を抱き合って悲願の成就を喜びました。スピーチでは「世界遺産登録はゴールでなく、新しい第一歩」と語り、人類共通の宝を守り続け、その価値を世界と分かち合って、後世に引き継いでいくことを約束しました。



登録決定を受けスピーチをする山下知事（韓国・釜山）


地域での多様な取り組みも登録を後押し（明日香村で生物多様性保全活動に取り組む長谷工グループの皆さん）


橿原市耳成南小学校では、６年生が藤原京跡の清掃活動を実施。今後もPR活動や啓発活動を続ける予定です

ぜひご覧ください

パブリックビューイングの様子はこちら

特別映像「飛鳥・藤原の宮都 世界遺産への道のり」

暫定一覧表へ記載

●2007年1月
「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」として暫定一覧表への記載が決定

推薦書の作成

推薦の決定

●2024年9月
文化審議会世界文化遺産部会が国内推薦候補に選定

推薦書提出

●2025年1月
世界遺産条約関係省庁連絡会議と閣議了解を経て推薦書をユネスコ世界遺産委員会へ提出

審査

●2025年～2026年6月
ICOMOSが推薦書を審査し、世界遺産一覧表への記載を勧告

世界遺産一覧表へ記載決定

●2026年7月26日
第48回世界遺産委員会（韓国・釜山）が世界遺産一覧表への記載を決議

飛鳥


山田寺跡


飛鳥宮跡

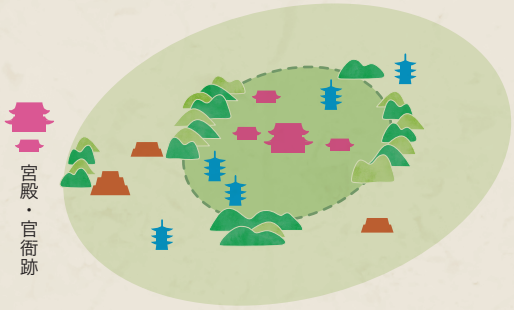
飛鳥・藤原から始まった、古代日本の国づくり

6～8世紀、中国大陸や朝鮮半島との交流を通じて、日本列島においてはじめて天皇を中心とする中央集権国家が生まれました。その舞台となったのが飛鳥と藤原の宮都です。2つの宮都は、その後の平城京や平安京の建設と発展に影響を与えました。19の構成資産は、これら宮都の特質を示す宮殿・官衙（かんが）跡、仏教寺院跡、墳墓を代表するものです。

世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」は、古代日本の国づくりを今に伝える考古学的遺跡群で、東アジアにおける中央集権的国家体制の誕生と成立の過程を示しています。

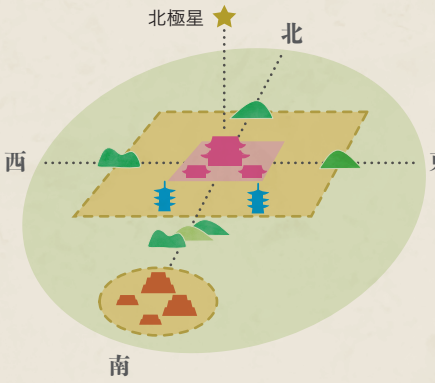
飛鳥の宮都（588～694年）

飛鳥盆地につくられた飛鳥の宮都は、日本で初めて宮殿の位置が固定化されました。政治の中心となった宮殿の周囲には官衙（役所）が設置されました。皇族や有力氏族は、権威を示すために仏教寺院や墳墓を築きました。



藤原の宮都（694～710年）

飛鳥盆地北西につくられた藤原の宮都の宮殿が藤原宮です。大極殿を中心に、宮内に官衙を集めた構造は中央集権体制を表しています。国家鎮護（ちんご）を願って寺院が計画的に配置され、墳墓は郊外の特定地域に築かれました。




本薬師寺跡


藤原宮跡

藤原

関連イベント

飛鳥・藤原の宮都と地域の魅力に触れるイベントを開催！

開催中

開設25周年×「飛鳥・藤原の宮都」世界文化遺産登録記念特別展
「高照らすみやこ ー描かれた「飛鳥・藤原の宮都」ー」
時 ～12月6日（日）
所 万葉文化館（明日香村）

特別展
「世界遺産 山田寺の時代」
時 ～12月6日（日）
所 桜井市立 埋蔵文化財センター（桜井市）

秋期特別展
「世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」と奈文研」
時 ～12月13日（日）
所 飛鳥資料館（明日香村）

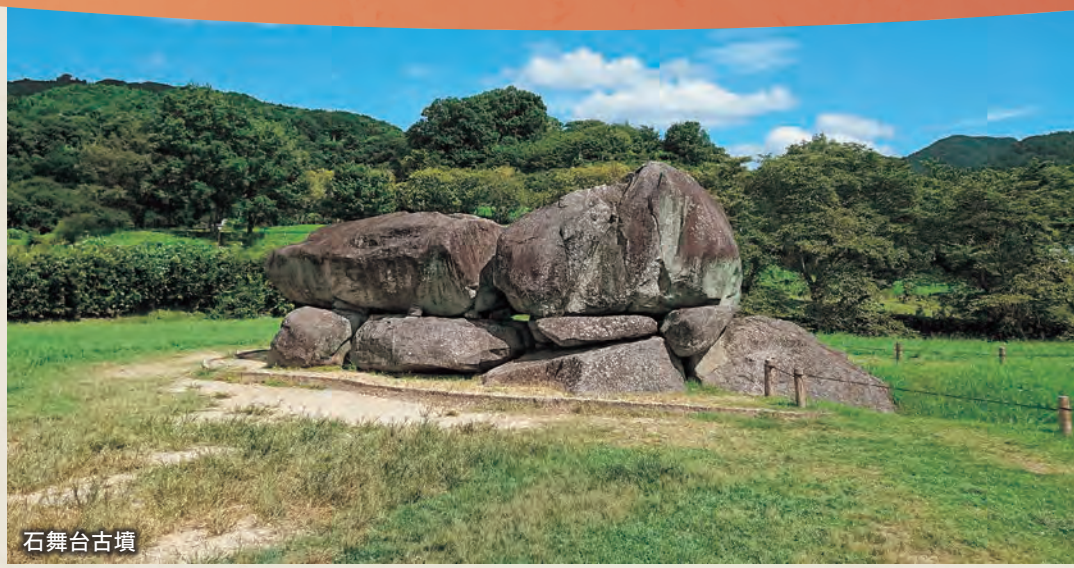
ハローキティと一緒におさんぽ 飛鳥・藤原クイズラリー
時 ～3月15日（月）
所 橿原市・桜井市・明日香村

11月～開催

「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産登録記念特別展
「藤原京をゆく」
時 11月14日（土）～1月31日（日）
所 歴史に憩う 橿原市博物館（橿原市）

GIGAKU 行道祭2026
時 11月22日（日）
所 明日香村内各所
※詳しくはP.18

ACCU 文化遺産セミナー2026
時 1月9日（土）
所 奈良公園バスターミナル（奈良市）
※詳しくはP.16


石舞台古墳

調査研究が明らかにした 世界遺産の価値



奈良大学 文学部
文化財学科 教授
相原 嘉之さん

「飛鳥・藤原」の調査研究は、1933年の石舞台古墳の調査に始まり、1世紀近く、この地域の調査研究が積み重ねられてきました。従来、『日本書紀』などの史料から復元されてきた歴史を、遺跡が証明してきたのです。宮殿の殿舎配置は天皇の政治思想を反映し、寺院の建築技術は、その後の建築に多大な影響を与えました。古墳の変遷から、国家が墳墓をも管理していったことも分かります。これらの遺跡の内容や変遷から、国家がどのように整備されていったかを読み解くことができました。「飛鳥・藤原」の世界遺産登録は、このような調査研究に裏付けられているのです。そして、これからの調査研究によって、世界遺産的な価値はますます高まっていくでしょう。

19の構成資産

飛鳥宮跡	明日香村	宮殿・官衙跡
飛鳥京跡苑池	明日香村	宮殿・官衙跡
飛鳥水落遺跡	明日香村	宮殿・官衙跡
酒船石遺跡	明日香村	宮殿・官衙跡
飛鳥寺跡	明日香村	仏教寺院跡
橘寺跡	明日香村	仏教寺院跡
山田寺跡	桜井市	仏教寺院跡
川原寺跡	明日香村	仏教寺院跡
檜隈寺跡	明日香村	仏教寺院跡
石舞台古墳	明日香村	墳墓
菖蒲池古墳	橿原市	墳墓
牽牛子塚古墳	明日香村	墳墓
藤原宮跡	橿原市	宮殿・官衙跡
大官大寺跡	明日香村 橿原市	仏教寺院跡
本薬師寺跡	橿原市	仏教寺院跡
天武・持統天皇陵古墳	明日香村	墳墓
中尾山古墳	明日香村	墳墓
キトラ古墳	明日香村	墳墓
高松塚古墳	明日香村	墳墓

藤原の宮都　飛鳥の宮都


高松塚古墳

問 県世界遺産室　☎ 0742-27-2054　FAX 0742-27-5386